issa

2018/19

年次報告

成果と変化

新時代を迎えるISSA

使命 ISSA

国際的な社会保障の推進

国際社会保障協会（ISSA）は、社会保障機関や政府部門を繋ぐ世界有数の国際機関です。

ISSA は、優れた社会保障運営支援センターの一環として、専門的なガイドラインと能力構築を世界中のISSA加盟機関に提供し、社会保障の重要課題に対する革新的解決方法の提案、さらに独自の国際データの共有を行ない、ハイレベルな地域・国際イベントも開催し、優れた社会保障を推進しています。

世界中のISSA加盟機関のダイナミックな社会保障制度や政策の展開を手助けするISSAは、国際労働機関（ILO）の支援を受けて1927年に設立されました。

2018/19 年次報告 issa

ISSA事務局
Route des Morillons 4 – Case postale 1
CH-1211 Geneva 22
T: +41 22 799 66 17 – F: +41 22 799 85 09
E: issa@ilo.org

グラフィックデザインと製作
アトリエ・シュネッグ, イヴ・ボルティネ

印刷：スイス

写真：ISSA

© International Social Security Association, 2019

03
インタビュー
ISSA新事務総長
マルセロ・アビハミア・カエタノ

05
インタビュー
地域事務所の役割

08
ISSAの活動
主なイベントと重要な協力関係

12
グッドプラクティス賞--アジア太平洋地域
社会保障制度のワンストップサービス

13
ACT2018
重要性が増す数理士の役割

16
グッドプラクティス賞--ヨーロッパ地域
社会保障におけるデジタル化と
オートメーション化

17
ISSAアカデミー
能力構築と解決策の探求

ISSA 会長
ヨアヒム・ブロイアー
教授・博士

会長からのメッセージ

成果と変化

社会保障は人々の人生を変え、社会発展に貢献します。私たちは、社会保障の重要性を高める多くの社会的、経済的及び技術的な課題に直面しています。

今年は国際社会保障協会（ISSA）にとってさまざまな成果と変化が見られる一年となりました。私たちは、ISSA主催イベント、出版物、製品やサービスを通じて優れた社会保障を推進してまいりました。国際電気通信連合、国際リハビリテーション協会、国際農業開発基金、欧州保健医療不正・腐敗ネットワーク及び社会保障アメリカ大陸間会議等、多くの国際パートナーと協定を結んできました。加えてISSAは、G20アルゼンチン労働雇用大臣会合、南アフリカでのBRICS諸国労働雇用大臣会合等の主要な国際会議への参加、及び国際労働機関（ILO）との緊密な連携を通じて世界での知名度を上げてきました。

私たちは協力して世界における社会保障の重要性を提唱する力強い存在。

変化に関して言えば、ブラジル出身の新ISSA事務総長、マルセロ・アビハミア・カエタノ氏がISSA会員から強い信任を得られたことは喜ばしいことでした。カエタノ氏は2019年2月1日、前任のハンス-ホルスト・コンコルスキー氏から職務を引き継ぎました。2018年8月には、ナミビアのミルカ・ムングンダ氏を新副会長として迎え入れました。

ISSAは会員組織として世界中で320以上の社会保障機関及び政府機関を支援し続けます。私たちは協力して社会保障の重要性を提唱する力強い存在です。地域及び国際的なネットワークを通じて、相互に学び、グッドプラクティスを共有し、優れた運営や改革を実施しながら現状の課題と新たな課題に挑み続けています。

当協会は、目まぐるしく変化する労働市場、技術・人口動態の変化及び新たなリスクや課題に直面する状況の中において、持続可能な社会保障に貢献する不可欠な存在です。2030年をゴールとした持続可能な開発目標にある普遍的な社会保障の実現にとっても、重要な役割を演じています。世界人口の半分未満しか十分な社会保障を得られていないことを認識しています。私たちは、人々を守り、持続可能的に社会保障を拡大させるため、取組を強化しなければならないことを知っています。■

インタビュー

新ISSA事務総長

マルセロ・アビハミア・カエタノ

2019年2月1日、ブラジル出身のマルセロ・アビハミア・カエタノ氏は国際社会保障協会の事務総長に就任しました。本インタビューで、カエタノ氏は自身のバックグラウンドやISSAに対する抱負について語っています。

2018 年 12 月 7 日、ジュネーブ -- 第 37 回 ISSA 評議員会でマルセロ・アビハミア・カエタノ氏が ISSA 事務総長として選出された

まず、ISSA事務総長になった動機を教えてください。
社会保障は社会的結束と経済発展のための必要条件であり、人々の生活に直接ポジティブな影響を与えるものです。日々30億人に社会保障を届ける社会保障機関と協力し、仕えることは大変刺激的で非常に光栄なことです。長年、ブラジルの社会保障の様々な分野の改善に取り組んだ後、この経験を世界のために活用できることを喜ばしく思っています。

カエタノ氏のバックグラウンドとこれまでのISSAとの関係をお聞かせください。
自分のキャリアのほとんどを社会保障の研究と政策立案に捧げてきました。最後の役職はブラジルの社会保障局長でした。ISSAとは、カンファレンスやワークショップへの参加等多くの交流があり、これらの経験は常にポジティブなものでした。

就任してからの数か月はいかがですか。
ISSAコミュニティーは私をとても暖かく迎え入れてくれました。一つのハイライトは先日アゼルバイジャンで開催された地域社会保障フォーラムでした。今年後半に開催される世界社会保障フォーラムに向け、主催するベルギーとは密接な連携をとっています。このようなスタートが切れたことは非常に喜ばしく、残る2019年も楽しみです。

カエタノ氏が率いるISSAはどのように発展すると思いますか。
まず、私たちは製品やサービスのポートフォリオを強化し、会員のニーズに適合させる必要があります。次に、急速に変化する時代における社会保障のため、私たちはより強く発信していかなければなりません。最後に、ガバナンスと財政を強化し、統合していかなければなりません。

未来の社会保障の役割は、どうなっていくと思われますか。
急速な変化と新たなリスクの中で、人々、社会、そして経済にとって社会保障の重要性は増していくでしょう。変わりゆく労働市場、非正規雇用、社会の高齢化、技術革新及びその他の発展は既存の制度にとっての課題です。同時に、適用範囲の拡大にも努めなければなりません。課題は分かっているので、革新的で効果的な解決策を特定し、共有するために努めていくことが私たちに課せられた使命です。このような取組は一つの国では成し得ないことです。ISSAの国際的な役割は今後高まっていくことでしょう。■

新副会長

2018 年 8 月、第 116 回 ISSA 役員会でミルカ・ムングンダ氏が ISSA 副会長に選出されました。彼女は現在、ナミビアの社会保障委員会（SSC）で執行役員を務めています。

インタビュー

地域事務所の役割

17 の地域組織が各地域の ISSA 会員との連携を促進し、ISSA イベントを企画・主催し、さらに外部イベントで ISSA の代表として参加しています。

西アフリカの地域担当者
アメッド・バンバ氏

西アフリカの地域連絡担当者であるアメッド・バンバ氏は 3 つの質問に答えてくれました。

地域連絡担当者の役割について、どのように考えていらっしゃいますか。
地域連絡担当者は ISSA 活動の実施と成功において、非常に大きな役割があります。西アフリカの ISSA 連絡事務所はコートジボワールの社会保険機構－全国社会保険基金（Institut de prévoyance sociale – Caisse nationale de prévoyance sociale – IPS-CNPS）が務めており、15 か国の 30 の ISSA 会員と活動しています。私たちは ISSA 活動やイベントの推進、企画さらに ISSA 製品やサービスのプロモーションも行っています。

昨年の主な活動について教えてください。
昨年は、ギニアのコナクリで適用拡大についての技術セミナーを開催、さらにコートジボワールのアビジャンでは「職場のリスク予防」をテーマとして、ガンビアのバンジュールでは「グッドガバナンス」をテーマとして、アカデミーワークショップも行ないました。これらの取組により、会員同士でグッドプラクティスを共有することができ、さらに ISSA の新会員誘致を行うことができました。私たちはアフリカでの Vision Zero キャンペーンも立ち上げ、ISSA の推進や会員との経験共有のため、地域会合にも参加しました。

ISSA の地域展開を拡大するには何が必要だと思われますか。
当該地域の多くの会員の機能はある程度成熟しているため、ISSA 製品とサービスを会員に対してさらに推進していくためには、助言や研究に重点的に取り組んでいかなければなりません。加えて、新会員をどのように獲得していくか検討していく必要があります。■

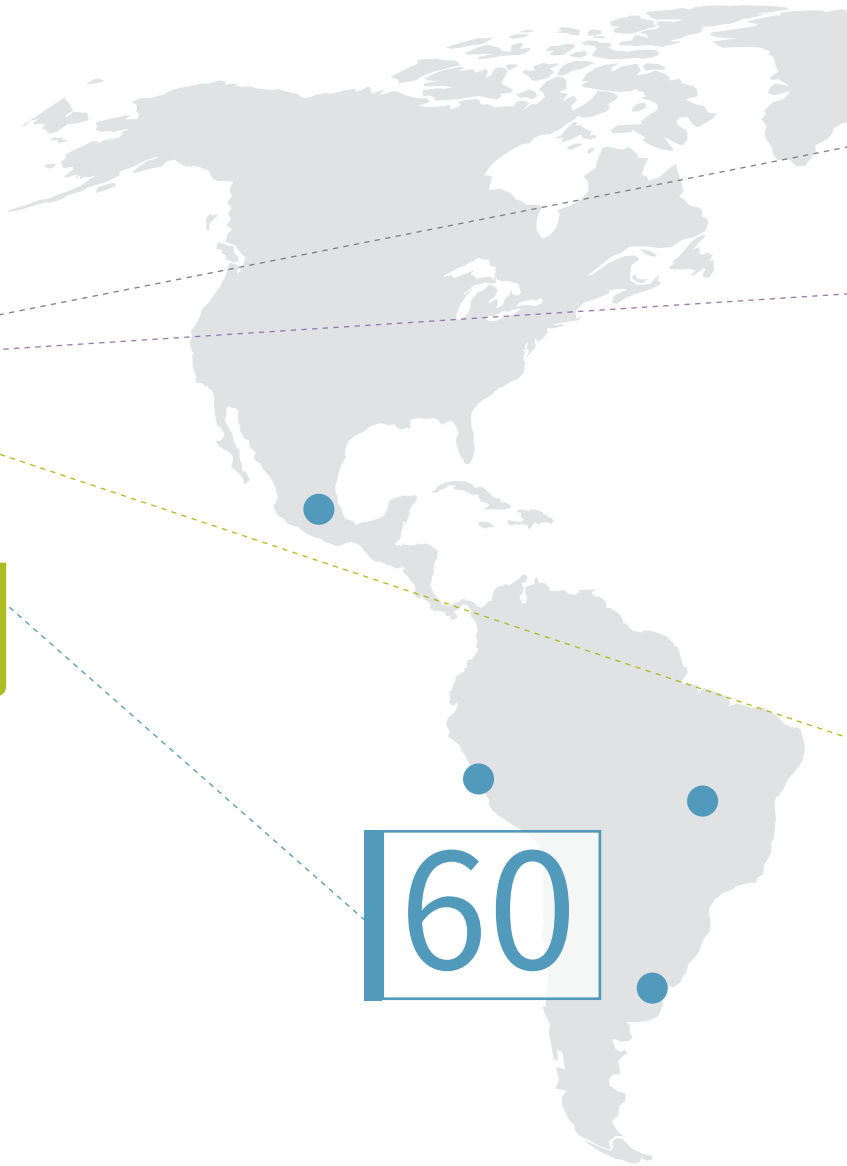
2018 年、新たに ISSA に加入した会員

- バングラデシュ・アクチュアリー協会（Actuarial Society of Bangladesh）
- 国民年金基金（National Pension Fund）、ベナン
- 被用者信託基金（Employees Trust Fund）、ブルネイ・ダルサラーム国
- FADOQ ネットワーク（FADOQ Network）、カナダ
- 労働安全保険委員会（Workplace Safety and Insurance Board）、カナダ
- 全国社会保障基金（National Social Security Fund）、コンゴ民主共和国
- 年金管理機構（Superintendence of Pensions）、ドミニカ共和国
- ウォリス・フツナ島社会給付基金（Social Benefits Fund of Wallis and Futuna Islands）、フランス
- 労働者災害補償基金（Workers Compensation Fund）、タンザニア連合共和国
- 全国疾病保険機構（National Sickness Insurance Institute）、トーゴ
- アブダビ退職年金・給付基金（Abu Dhabi Retirement Pensions and Benefits Fund）、アラブ首長国連邦

世界の ISSA

321

加盟機関
156 か国



ISSA 地域組織

ISSA には世界中に 17 の地域組織があり、ISSA 加盟機関がその活動拠点となり、専門の連絡担当者が配置されています。■

- **30 億人**の適用対象者
- **6 兆ドル**の基金
- **300 万人**の被用者

南北アメリカ地域

北中米連絡事務所
国家被用者社会保障・社会サービス機関（State Employees' Social Security and Social Services Institute）
が活動拠点
メキシコ（メキシコシティ）

アンデス諸国連絡事務所
デラママジステリアル（Derrama Magisterial）が活動拠点
ペルー（リマ）

南米コーノスール連絡事務所
社会保障庁（National Social Security Administration）
が活動拠点
アルゼンチン（ブエノスアイレス）

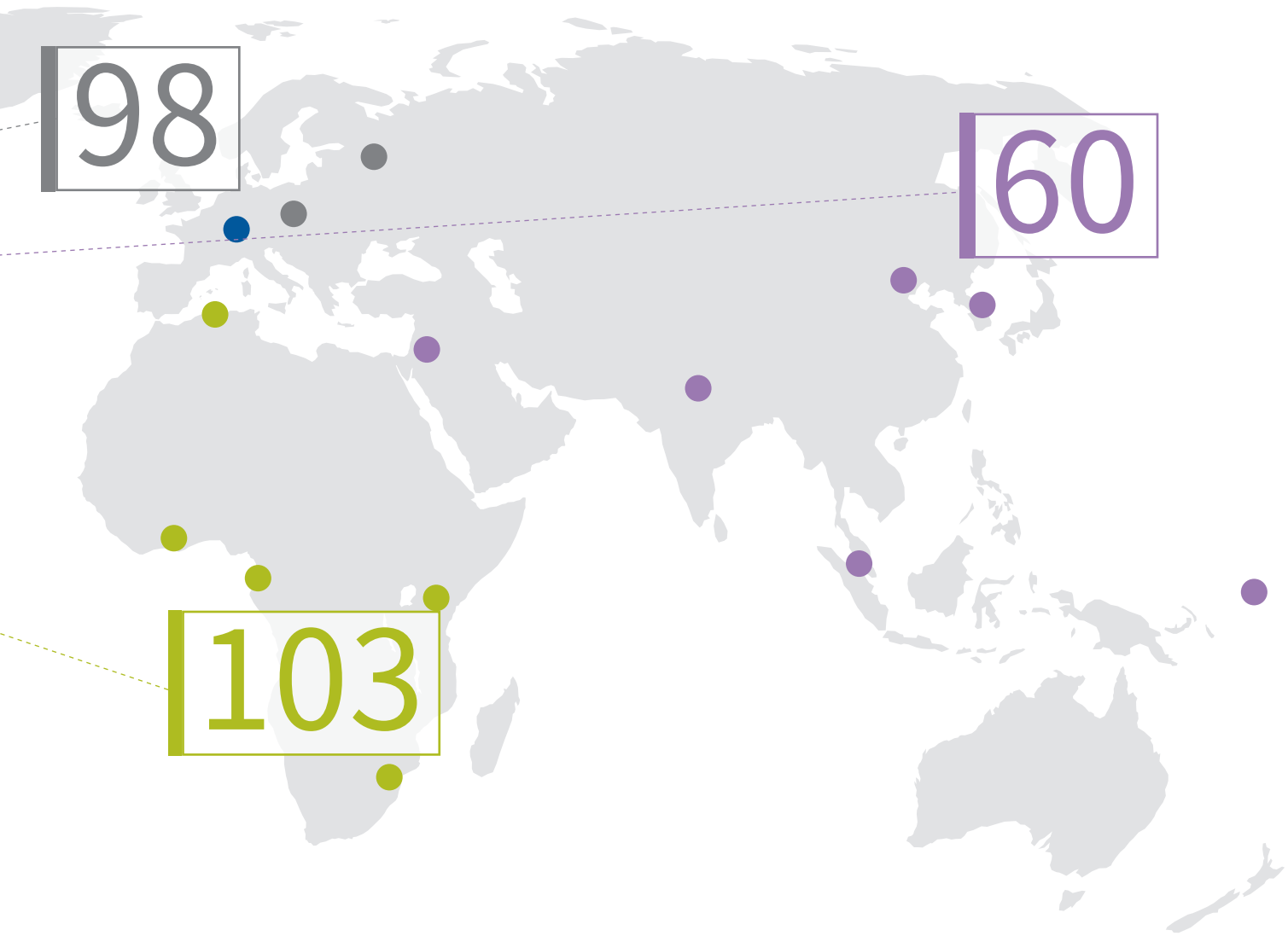
ポルトガル語諸国フォーカルポイント
国立社会保障院（National Social Security Administration）が活動拠点
ブラジル（ブラジリア）

ヨーロッパ地域

ISSA ヨーロッパネットワーク
社会保険機関（Social Insurance Institution）が委員長を務める運営委員会
ポーランド（ワルシャワ）

ユーラシア連絡事務所
ロシア連邦年金基金（the Pension Fund of the Russian Federation Moscow）が活動拠点
ロシア連邦（モスクワ）

ISSA 事務局
スイス（ジュネーブ）



アフリカ地域

北アフリカ連絡事務所
全国被用者社会保険基金（National Social Insurance Fund for Employees）が活動拠点
アルジェリア（アルジェ）

西アフリカ連絡事務所
全国社会保険基金（Social Insurance Institute National Social Insurance Fund）が活動拠点
コートジボワール（アビジャン）

中央アフリカ連絡事務所
全国社会保障基金（National Social Security Fund）が活動拠点
ガボン（リーブルヴィル）

南アフリカ連絡事務所
エスワティニ国立共済基金（Eswatini National Provident Fund）が活動拠点
エスワティニ（マンジニ）

東アフリカフォーカルポイント
東中央アフリカ社会保険協会（East and Central Africa Social Security Association）
ケニア（ナイロビ）

アジア太平洋地域

アラブ諸国連絡事務所
社会保障公社（Social Security Corporation）が活動拠点
ヨルダン（アンマン）

南アジア連絡事務所
被用者国家保険公社（Employees' State Insurance Corporation）が活動拠点
インド（ニューデリー）

東南アジア連絡事務所
社会保障機関（Social Security Organisation）が活動拠点
マレーシア（クアラルンプール）

東アジア連絡事務所
国民医療保険公団（National Health Insurance Service）が活動拠点
大韓民国（ソウル）

中国加盟機関フォーカルポイント
人力資源・社会保障部社会保険庁（Social Insurance Administration of the Ministry of Human Resources and Social Security）が活動拠点
中国（北京）

太平洋諸島国フォーカルポイント
フィジー国立共済基金（Fiji National Provident Fund）
フィジー（スバ）

ISSA 活動

2018 年から 2019 年にかけて、ISSA は、237 の加盟機関と 2,224 人の参加者が集う 30 のイベントを開催しました。

主なイベント

主なパートナシップ

TC フォーラム – 第 12 回 ISSA 技術委員会フォーラム、2018 年 8 月 27 ～ 28 日、スイス（ジュネーブ）。

RSSF アジア太平洋 – アジア太平洋地域社会保障フォーラム、2018 年 10 月 2 ～ 4 日、マレーシア（クアラルンプール）。

ACT2018 – 第 19 回 ISSA 社会保障における数理、統計、投資専門家の国際カンファレンス、2018 年 11 月 6 ～ 8 日、クウェート（クウェートシティ）。

2018 年 8 月 | 2018 年 9 月 | 2018 年 10 月 | 2018 年 11 月 | 2018 年 12 月 | 2019 年

ITU – ISSA は国際電気通信連合（ITU）との間で ICT 及びサイバーセキュリティに関する協定を締結しました。

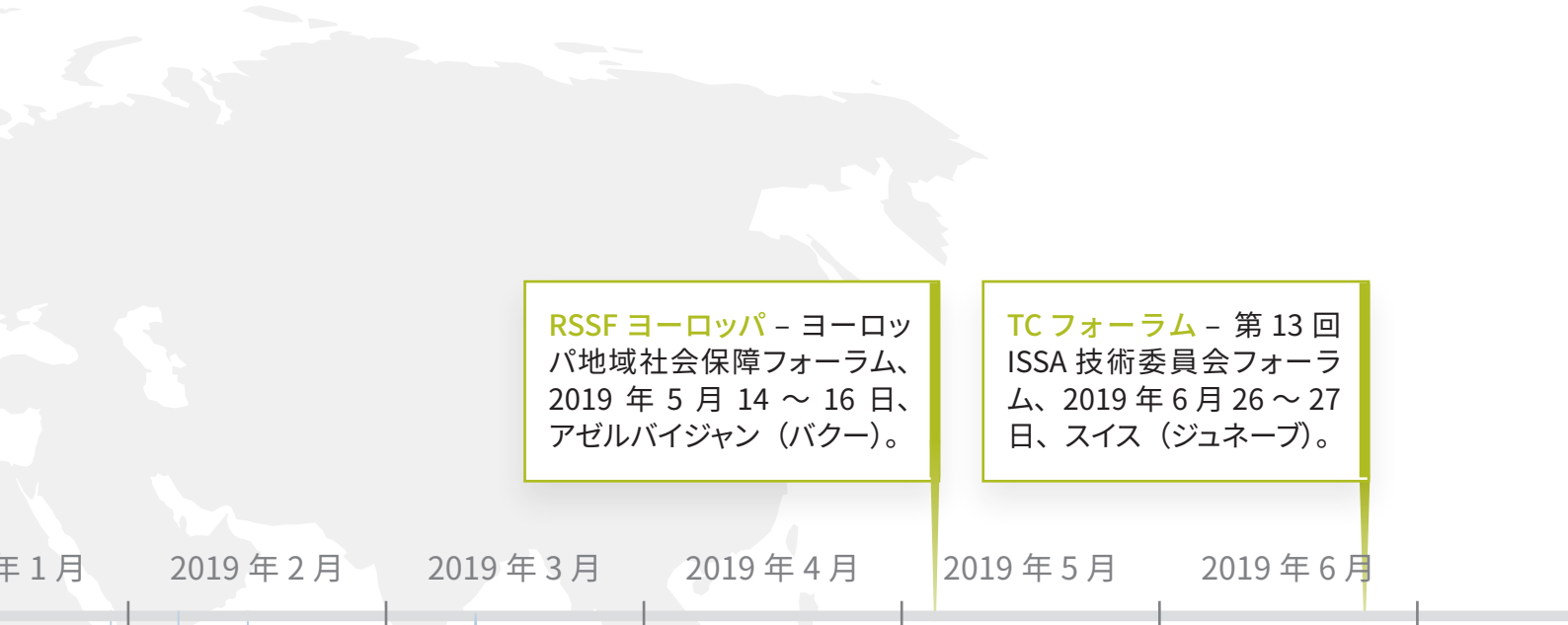
G20 – ISSA 会長のヨアヒム・ブロイアー教授・博士は、アルゼンチン（メンドーサ）で開催された仕事と雇用の未来を語る G20 労働雇用大臣会合に貢献しました。

BRICS諸国 – ブラジル、ロシア、インド、中国及び南アフリカ（BRICS）の労働雇用大臣はISSAが国際労働機関（ILO）と協働してバーチャルな連絡事務所を務めることを承認しました。

EHFNC – ISSA は欧州保健医療不正・腐敗ネットワーク（EHCFN）と協力し、エラー、回避及び不正への取組を行なう合意をしました。

RI グローバル – ISSA は国際リハビリテーション協会（RI Global）との同意書に署名しました。

ILO – 国際労働機関のガイ・ライダー事務局長は、社会正義とディーセント・ワーク実現に向けた ILO と ISSA の歴史的協力関係について、ISSA 役員会でスピーチを行いました。



RSSF ヨーロッパ – ヨーロッパ地域社会保障フォーラム、2019 年 5 月 14 ～ 16 日、アゼルバイジャン（バクー）。

TC フォーラム – 第 13 回 ISSA 技術委員会フォーラム、2019 年 6 月 26 ～ 27 日、スイス（ジュネーブ）。

CISS – ISSAと社会保障アメリカ大陸間会議（CISS）は社会保障に関する強固な協力体制を継続していくための協定に署名しました。

USP2030 – ISSA は 2030 年までの普遍的な社会保障を目指す国際パートナシップに参加しました。

IFAD – ISSA はイタリア（ローマ）にて農村地帯における社会保障に関し、国際農業開発基金（IFAD）との協定に署名しました。

世界銀行 – ISSA と世界銀行は社会保障における協力体制を発展させるため、タイ（バンコク）で会合を行ないました。

ILO 創立 100 周年記念行事 – ISSA は 2019 年に行われる ILO 創立 100 周年記念行事を支援しています。一年を通じて ILO は社会保障の重要性を推進し、2019 年 11 月 24 ～ 29 日に国際社会保障週間を実施します。

アジア太平洋地域社会保障フォーラム

適用拡大に革新を

マレーシア（クアラルンプール）、2018年10月2～4日

400
の参加者

75
の機関

35
の国

主催者：マレーシア社会保障機関（Pertubuhan Keselamatan Sosial – PERKESO））

社会保障の適用拡大を推し進め、その社会的影響を強化するための革新的な解決策は、ISSAアジア太平洋地域社会保障フォーラム(RSSF)の主要議題でした。

2030年に向けた国連の持続可能な開発目標が掲げる普遍的な社会保障実現への国際的な取組は、アジア太平洋地域でも積極的に行われています。現在、同地域において、少なくとも一つの社会的保護給付へのアクセスを有する者の割合は39％ですが、この適用率を飛躍的に拡大し続けることが目標です。

フォーラムにおいて、ISSA は『世界の社会保障が直面する 10 の課題－（アジア太平洋地域）』レポートを発表しました。最優先課題に適用格差の是正が挙げられ、適用範囲を拡大する重要な取組が各国で行われています。インドネシアは医療ケア、労働災害給付や年金の適用拡大を実施しており、マレーシアはデジタルプラットフォームを用いてタクシー運転手を含む自営業に対する社会保障を強化しています。ベトナムやフィリピンでも同様な取組が行われています。

RSSF は効果的な取組を評価し共有する貴重な機会となりました。

次に重要な課題は保健と介護でした。重要な点は、この地域では、適用拡大と同時に、急速に高齢化する社会に備えた社会保障制度にするという二重の課題に対応しなければならないことです。

アジア太平洋地域社会保障フォーラムの社会保障サミットではハイレベル出席者によって同地域における普遍的な社会保障をどのように実現するか意見が交わされました。

ISSA 会員は数々のパラレルセッションを通じて社会保障におけるグッドプラクティスを共有することができました。

テクノロジー：課題とソリューション
新たな情報通信技術の利用により、社会保障機関は、適用格差及び保健・介護のニーズ及びその他の課題に対応することが可能です。

RSSFは、イラン・イスラム共和国の社会保障モバイルサービスやクウェートの作業オートメーション化及び通信システム等、ISSA会員によるグッドプラクティスを目の当たりにする絶好の機会でした。■

世界の社会保障が直面する 10 の課題（アジア太平洋地域）

1. 適用格差の縮小
2. 保健と介護
3. 技術の進展
4. 高まる社会の期待
5. 高齢化社会
6. 労働市場とデジタル経済
7. 若年労働者の雇用
8. ライフコースにおける不平等
9. 新たなリスク、衝撃及び過度な事象
10. 移民労働者の保護

グッドプラクティス賞

社会保障制度のワンストップサービス

大韓民国の国民年金公団（NPS）がワンストップサービスでアジア太平洋地域のISSA グッドプラクティス賞を受賞しました。

「私たちのワンストップサービスが ISSA グッドプラクティス賞を受賞したことは大変光栄です。お客さまサービスの無駄をなくし、合理化する取組が成功した証となりました。」
ーキム・ソンジュ

様々な社会保障機関及びサービスへのアクセス方法や場所について知ることが複雑に思える場合があります。明確な窓口が無いと感じる人もいるかもしれません。

4つを1つに

大韓民国ではこのような悩みに対処するため、社会保険情報センターが設立されました。利用者は3つの運営組織のいずれか１つのウェブサイト又は事務所を訪れるだけで、年金、医療、雇用及び労働災害の4つの給付プログラムにアクセスできます。

この取組が評価され、国民年金公団は、2018 年 10 月、クアラルンプール（マレーシア）で開催されたアジア太平洋地域社会保障フォーラムで ISSA グッドプラクティス賞を受賞しました。■

＊ *大韓民国国民年金公団の代表取締役会長*

76 エントリーのトップ

大韓民国の NPS は、15 か国、20 加盟機関からの 76 エントリーという厳しい競争で 2018 年のグッドプラクティス賞を獲得しました。以下の加盟機関は特別優秀賞（Certificates of Merit with a Special Mention）を受賞しました。

中国
人力資源・社会保障省（Ministry of Human Resources and Social Security）

インドネシア
医療保険実施機関（Social Security Administering Body for the Health Sector）

大韓民国
韓国産業安全公団（Korea Occupational Safety and Health Agency）；韓国勤労福祉公団（Korea Workers' Compensation & Welfare Service; National Health Insurance Service）；国民医療保険公団（National Health Insurance Service）；国民年金公団（National Pension Service）

オマーン
社会保険庁（Public Authority for Social Insurance）

サウジアラビア
社会保険総合公社（General Organization for Social Insurance）

シンガポール
労働省（Ministry of Manpower）

タイ
社会保障事務局（Social Security Office）

ベトナム
ベトナム社会保障（Vietnam Social Security）

ACT2018　国際カンファレンス

変わりゆく世界：社会保障制度の強化

クウェートシティ（クウェート）、2018年11月6～8日

250
の参加者

90
の機関

57
の国

主催者：クウェート社会保障公的機構（Public Institution for Social Security）

急速に変化する世界の中において、持続可能な社会保障制度を確保するため、数理士は、推計の発展、想定される結果の分析及び解決策の発見等で重要な役割を担っています。

技術的な変化と拡大するデジタル革命により、非正規就労の新たな形態が発展しています。これにより、拠出制社会保障の財政基盤に問題を生じさせる可能性があります。また、人口の高齢化と医療ケアのニーズの増加も社会保障財政に大きな影響を与えます。社会保障の財政には厳しい状況となっています。

これらの課題はクウェートで開催された第 19 回 ISSA 社会保障における数理、統計、投資専門家の国際カンファレンス（ACT2018）の焦点となりました。

「技術的変革やデジタル経済による労働市場の大きな変化は暫定的な社会保障制度の財源を制限する恐れがあり、その持続性に影響する可能性があります。」

— ジャン・クロード・メナード*

社会保険数理士は、これらの課題に対応し、社会保障制度の財務状況の長期維持及び様々なショックにも耐えられる強靭性を確保するために、より重要な役割を果たすことが期待されています。

ACT2018 では、リスクマネジメント、投資、制度設計及び財政に加え、制度の評価における数理士の重要性について、複数の講演者が言及しました。

ISSA の支援について
ISSA は優れた社会保障運営支援センター（Centre for Excellence）を通じて、ガイドライン、アカデミーワークショップ及びその他のリソースを提供し、数理業務や投資分野において加盟機関を支援しています。

国際社会保障レビュー（ISSR）
特別に発行された『国際社会保障レビュー』（71 巻、3 号）は社会保障の義務である数理・財務報告を取り上げています。ISSR は My ISSA から無料でオンラインアクセスできます。■

＊カナダ政府の元首席保険数理官及び ISSA 統計・数理・財政研究委員会委員長

ヨーロッパ地域社会保障フォーラム

社会保障における革新の必要性

バクー（アゼルバイジャン）、2019 年 5 月 14 ～ 16 日

280
の参加者

55
の機関

35
の国

主催者：アゼルバイジャン共和国の労働・社会保障省（Ministry of Labour and Social Protection of Population）
活動拠点

優れた社会保障は各機関の革新を起こす力にかかっています。これはヨーロッパ地域社会保障フォーラム（RSSF）で重要視されたポイントの一つです。

ヨーロッパには包括的かつ強固な社会保障システムがいくつも存在しています。しかしながら、ヨーロッパの社会が急速に変化を遂げる中、今まで以上に革新が必要とされています。

ISSA の報告書『世界の社会保障が直面する 10 の課題－（ヨーロッパ地域）』では、当該地域の社会保障が、人口動態、労働市場及び技術革新の課題に直面していることが提示されています。この報告書は 2019 年 5 月、バクー（アゼルバイジャン）の RSSF にて発表され、幅広い討論が行われました。

人口動態の変化
高齢化社会は社会保障にとって大きな問題です。財政持続可能性が重要な課題である一方で、フォーラムではニーズが増加し続ける保健と介護に取り組む包括的な対策が議論されました。社会保障は、ライフサイクル及び国民目線の感覚を重要視しつつ、高齢化社会の高まるニーズに対応する必要があります。

ヨーロッパ諸国は、年金受給開始年齢の引き上げ、シニア労働者の就労促進、ニーズに合わせた家族給付及びより柔軟で効果的な医療サービス等によりこれらの課題に対応しています。

世界の社会保障が直面する 10 の課題
ヨーロッパ地域

1. 労働市場とデジタル経済
2. 高齢化社会
3. 技術の進展
4. 保健と介護
5. ライフコースにおける不平等
6. 高まる社会の期待
7. 適用格差の縮小
8. 若年労働者の雇用
9. 移民労働者の保護
10. 新たなリスク、衝撃及び過度な事象

RSSF ヨーロッパを主催したアゼルバイジャン共和国の労働・社会保障省代表のアナール・カリモヴ副大臣に対し、ISSA シルバープレートが授与されました。

技術的変化、雇用と社会保障

RSSF では、技術的な変化と新たなデジタル経済及びこれらの進展による労働市場や社会保障の課題について議論が展開されました。

一方でデジタル経済と拡大し続けるオートメーション化は、持続的かつ十分な社会保障適用の課題となっています。非正規雇用のさらなる広がりは、社会保障への効率的なアクセスを弱体化させる可能性があります。

他方で、新しい技術は効率や生産性の向上をもたらし、新しい雇用機会も生み出します。社会保障の運営と適用範囲の改善も可能となります。そのため、社会保障機関は ICT（情報通信技術）の最大ユーザーグループの一つでもあります。■

「世界レベルの課題に対処するためには、ヨーロッパの社会保障は引き続き、革新を引き起こすように集中しなければなりません。ヨーロッパ社会保障はその能力を十分に備えています。」
— マルセロ・アビハミア・カエタノ＊

＊ *ISSA 事務総長*

デジタル経済と社会保障オブザーバトリー

ISSA のオンラインオブザーバトリーは、デジタル経済が社会保障運営にもたらす機会と課題をよりよく理解するための情報を提供しています。

デジタル化とサービスの質

2019 年 2 月、ISSA のヨーロッパ地域組織は、アムステルダムとモスクワで、社会保障における革新、デジタル化及びサービスの質に関する技術セミナーを開催しました。

グッドプラクティス賞

社会保障におけるデジタル化とオートメーション化

ベルギーの公的社会保障機関を代表し、補足的失業給付基金（CAPAC）が2019年ヨーロッパグッドプラクティス賞を受賞しました。

ベルギーの社会保障制度は強固でありながらも複雑であり、最適とは言えない効率が課題となっていました。これらの課題に対処するため、ベルギーはデジタル化とオートメーション化を戦略的に展開することを決めました。

大幅な削減効果

新しいシステムでは、社会給付が自動的に提供され、800 の書類が 220 の電子プロセスに生まれ変わりました。国民の事務手続きの負担は著しく削減され、雇用主は年間 10 億ユーロの節約が期待できます。社会保障関係者間の調整はオートメーション化及びデジタル化され、10 億件を超す紙媒体によるやりとりは電子メッセージに変わりました。

3000 以上の社会保障関係機関が関与する本プロジェクトは、非常に複雑でありながらも非常に重要なプロジェクトです。このサービス改善の取組が評価され補足的失業給付基金（Caisse auxiliaire de paiement des allocations de chômage – CAPAC）は、2019 年 5 月、バクー（アゼルバイジャン）で開催されたヨーロッパ地域社会保障フォーラムにおいて、ベルギーの公的社会保障機関を代表し、グッドプラクティス賞を受賞しました。■

76 エントリーのトップ

CAPAC はベルギーの公的社会保障機関を代表して、20 か国、25 加盟機関、76 エントリーの中から選ばれたグッドプラクティス賞を受賞しました。以下の加盟機関は特別優秀賞（Certificates of Merit with a Special Mention）を受賞しました。

オーストリア
オーストリア社会保障機関連合（Federation of Austrian Social Insurance Institution）

アゼルバイジャン
アゼルバイジャン共和国の労働・社会保障省下の国家社会保護基金（State Social Protection Fund under the Ministry of Labour and Social Protection of Population of the Republic of Azerbaijan）

ベルギー
全国雇用事務所（National Employment Office）

フィンランド
社会保険機構（Social Insurance Institution）

フランス
全国家族手当基金（National Family Allowances Fund）

ドイツ
ドイツ年金保険組合（German Federal Pension Insurance）；ドイツ労災保険組合（German Social Accident Insurance）

アイルランド
雇用・社会保護省（Department of Employment Affairs and Social Protection）

マルタ
家族・子供の権利・社会連帯省 Ministry for the Family, Children's Rights and Social Solidarity

ポーランド
社会保険機構（Social Insurance Institution）

スウェーデン
スウェーデン年金庁（Swedish Pensions Agency）

トルコ
社会保障機構（Social Security Institution）

ISSAアカデミー
能力構築と解決策の探求

今年のISSAアカデミーは、合計33のディプロマ課程とアカデミーワークショップが開催された活発な一年でした。

ISSAアカデミーは、能力構築及び具体的な課題に対する解決策を探求するという2つのアクティビティを提供しています。

「ISSA のディプロマ課程コースは非常に有益でした。私は特に不正を避け、不正を特定する多くの戦略について教わりました。」
— プレシャス・シワヤ*

*ザンビアの公務年金基金より、保険料徴収・納付義務遵守のディプロマ課程コースに参加。

ディプロマ課程コース
ディプロマ課程コースは認定された教育機関との協力で運営されています。これらのコースでISSA加盟機関のスタッフは、ISSAガイドラインとその実践について持続的に学習することができます。ISSAは、多言語に対応するため、社会保障研究インターアメリカン・センター（スペイン語）、全国社会保障学校（Ecole nationale supérieure de sécurité sociale – EN3S）（フランス語）、ILO国際トレーニングセンター（ITC）（英語）、及びムハーナ財団（アラビア語）と提携しています。

アカデミーワークショップ
アカデミーワークショップは、特定の課題に対する取組及び討論の機会を提供しています。討論はISSAガイドラインに基づいて行われ、社会保障機関が課題に取り組む際に使用するガイドラインについての指導もあります。アカデミーワークシップは多くの場合、ISSA地域組織の協力の下に運営されます。

2018年7月から2019年7月までに、23のディプロマ課程コースと10のアカデミーワークシップがISSAパートナーや加盟機関の協力の下に行われました。■

ルサカ（ザンビア）で開催された適用拡大のための運営ソリューションに関するアカデミーワークシップ。

VISION ZERO

予防：社会保障の重要原則

予防を推進するVision Zeroキャンペーンに 4000以上の組織、企業とトレーナーが登録しています。

Vision Zero キャンペーンは ISSA 予防特別委員会によって設立され、労働災害や職業病はすべて予防可能という認識に基づき構築されています。キャンペーンは職場での安全、健康と幸福を推進します。

Vision Zero は、分かりやすいガイドとツールで、予防に対する全体的なアプローチを提供しています。

世界中で平均して毎日 7500 人が仕事場で亡くなり、100 万人が負傷しています。
毎年 278 万件の労働関連死亡事例と 3 億 7400 万件の傷害事故が発生している事実を見ても、予防投資の必要性は明らかでしょう。世界の国内総生産の 4%が労働災害によって失われていると推測されています。

実施計画
予防に投資し、仕事場での安全、健康と幸福を推進することにより、社会保障機関は制度の持続可能性に貢献することができます。Vision Zero は、分かりやすいガイドとツールで、予防に対する全体的なアプローチを提供しています。さらに、ISSA ガイドライン「職場のリスク予防」、「職場の健康増進」及び「職場復帰と再統合」は、関連機関の能力開発の道標となり、積極的な予防とリハビリテーション・サービスを用いる十分な保護体制を補完します。■

VISION ZERO
Safety.Health.Wellbeing.

#VisionZeroGlobal

Vision Zero が国際的な賞を受賞

Vision Zero キャンペーンが評価され、ISSA は、2018 年 9 月、コロンビアのカルタヘナ・デ・インディアスで開催された第 18 回職場のリスク予防に関する国際会議で 2018 年国際 ORP 賞を受賞しました。その機会に併せてラテンアメリカの Vision Zero キャンペーンが始動しました。

Vision Zeroプロフィール

「Vision Zeroは具体的かつ適応力のある柔軟なソリューションを提供します。管理者の参加は必須ですが、成功を確実にするのは全労働者による参加です。」

— コートジボワール、
全国社会保険基金社会保険機構、
事務総長、
デニス・チャールズ・コウアシ氏

優れた社会保障運営支援センター

ISSAガイドラインの新しい世代

技術委員会から必要な指摘・監督を受けながら、ISSAは新世代ガイドラインを開発しています。

ジュネーブで開催された第 12 回 ISSA 技術委員会フォーラムでの討論。

社会保障運営におけるISSAガイドラインはISSAの優れた社会保障運営支援センターの要となっています。アカデミー、グッドプラクティスや認証プログラムのすべてが、このガイドラインに基づくものです。

「社会保障におけるエラー、回避及び不正問題に真っ向から対峙する必要があります。」
— ギレルモ・アルベルト・ラミレズ*

社会保障機関によって使用される本ガイドラインの適切な内容を維持するため、ISSA事務局は昨年、技術委員会と密接に協力し、必要に応じたガイドラインの評価と更新を実施してきました。既存の12のガイドラインのうち、8セットが今回改訂の対象として選ばれました。

エラー、回避及び不正に対する取組

エラー、回避及び不正への対策に関する新規ガイドラインも現在作成中です。2018年11月、スペイン社会保障出納院の招待及び国立社会保障院との連携によりマドリッドでこれらの課題に焦点を当てた国際セミナーが開催されました。

すべてのISSA加盟機関に対し、改訂・新規ガイドラインドラフトについての意見が募集されました。改訂・拡大したガイドラインのポートフォリオは2019年10月にブリュッセル（ベルギー）で開催される世界社会保障フォーラムで発表されます。■

** ISSA 保険料徴収・納付義務遵守技術委員会委員長*

ISSA 優れた社会保障運営支援センター

- ガイドライン
- アカデミー
- グッドプラクティス
- 認証

社会保障運営に関するISSAガイドライン

グッドガバナンス

サービスの質

保険料徴収・納付義務遵守

情報通信技術（ICT）

社会保障基金の投資

持続可能な雇用の推進

社会保障運営におけるコミュニケーション

社会保障の数理業務（ILOと共同）

適用拡大のための運営上の解決方法

職場復帰と再統合

職場のリスク予防

職場の健康増進

ISSA 認証プログラム

ISSA 認証には、独立した専門家が ISSA ガイダンスに対する加盟機関のコンプライアンスを評価します。

ISSA 認証は加盟機関のスタッフを励まし、意欲を高め、ステークホルダー目線での加盟機関の正当性をサポートします。

ISSA 認証を得た機関

機関	ISSAガイドライン
全国雇用事務所、ベルギー	サービスの質
国家社会保障基金、カメルーン	サービスの質
安全共済CChC、チリ	予防
国家社会保障公庫、マダガスカル	グッドガバナンス
社会保障機関、マレーシア	保険料徴収・納付義務遵守
社会保障機関、マレーシア	職場の健康増進
モロッコ年金基金	サービスの質
デラママジステリアル、ペルー	サービスの質
銀行員年金基金、ウルグアイ	保険料徴収・納付義務遵守
社会保険銀行、ウルグアイ	保険料徴収・納付義務遵守

ISSA認証

加盟機関からの信用増大

マダガスカルの国家社会保障公庫（CNaPS）はISSAガイドライン「グッドガバナンス」実施でISSA認証を受ける初めての機関となりました。

マダガスカルの国家社会保障公庫（CNaPS）はグッドガバナンスの ISSA 認証を受け、証明書が授与されました。

国家社会保障公庫（Caisse nationale de prévoyance sociale – CNaPS）事務総長のラウル・ロメイン・アリザカ・ラベコト氏は認証について、3つの質問に答えました。

最も大きなメリットは CNaPS が国際的に広く知られたことです。

認証プログラムへの参加は組織にとって、どのような影響がありましたか。
最も影響が大きかったのは信用です。認証プログラムへの参加によって、ユーザーとCNaPSの間、異なる政府機関間、及びスタッフと管理職の間等、さまざまなレベルで信用を得ることができました。

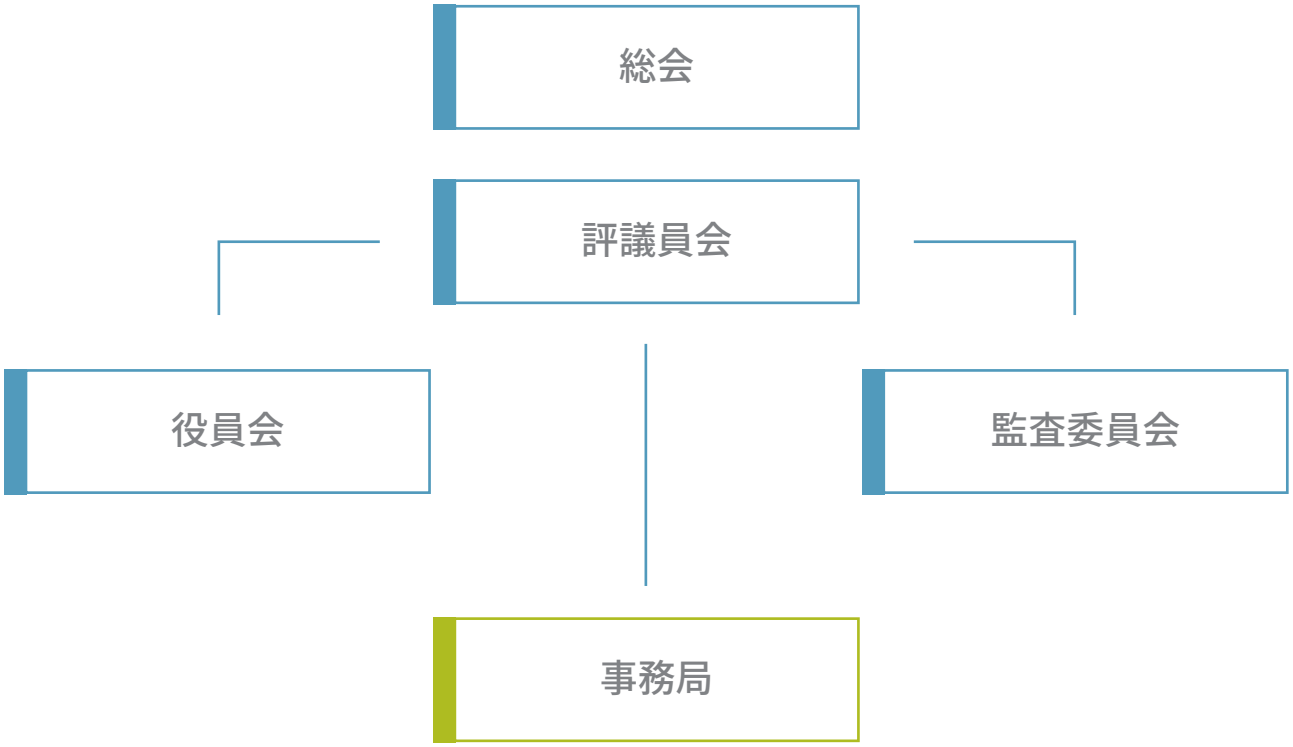
参加の最も大きなメリットは何ですか。
最も大きなメリットはCNaPSが国際的に広く知られたことです。マダガスカルは比較的孤立した島です。グッドガバナンスの分野で認証を受けた最初の社会保障機関になることは、世界の目をマダガスカルに向け、特にCNaPSの仕事ぶりが国際的に注目されます。

認証プログラムには誰が参加しましたか。
私たちのグッドガバナンス分野への認定要請を受理したISSA、CNaPSの仕事の評価を行った独立した専門家、そして認証に向けて非常に努力をしたすべてのCNaPSスタッフに感謝を申し上げます。みなさん、本当にありがとうございます。

認証プログラムは試験的に2016年に発足し、プログラムを修了するISSA加盟機関の数は徐々に増えています。■

ISSA
私たちの組織

ISSA のガバナンスと技術的な業務はすべて会員の貢献と知識によって運営されています。ISSA 事務局は 42 名のスタッフと加盟機関からの複数の派遣スタッフで構成されています。



執行幹部

会長	副会長	事務総長	会計役
ヨアヒム・ブロイアー	ミルカ・ムングンダ	マルセロ・アビハミア・カエタノ	ニコライ・コズロフ

ISSA 技術委員会

ISSA には 13 の技術委員会があり、96 の ISSA 加盟機関から 111 名のメンバーが所属しています。

ISSA は技術委員会を通じて加盟機関の知識と専門的なノウハウを集約し、国際社会における社会保障運営のトップレベルの管理職や専門家へ利益のある製品及びサービス開発に役立てています。技術委員会は昨年、ISSA ガイドラインの改訂に取組、エラー、回避及び不正対策に関する新しいガイドラインも開発しています。

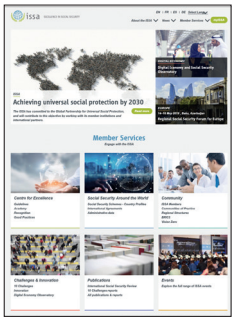
- 保険料徴収・納付義務遵守
- 雇用政策・失業保険
- 家族給付
- 情報通信技術（ICT）
- 労災保険
- 社会保障基金の投資
- 医療・疾病保険
- 共済給付組合
- 老齢・障害・遺族保険
- 組織・運営管理・革新
- 政策分析・研究
- 統計・数理・財政研究
- 予防特別委員会

ISSA 国際予防部門

予防特別委員会は 13 の国際予防部門から形成され、職場のリスク予防に関連する協働作業の調整を行っています。

- 農業
- 化学工業
- 建設業
- 予防体質
- 教育とトレーニング
- 電気、ガス、水道
- 保健サービス
- 情報
- 製鉄・金属工業
- 機械・システム安全
- 鉱業
- 研究
- 交通

ナレッジとリソース



新ウェブサイト

ISSAは新しいビジュアルのウェブサイトを立ち上げました。ユーザーエクスペリエンスやISSA製品とサービスの提供を改善しました。ISSA会員にとっての主なメリットは次のとおりです。

- すべてのISSA製品とサービスへの容易なアクセス
- 関心とニーズ別等、カスタマイズ可能なログイン・コンテンツへのアクセス
- 各課題に対するISSAの知見へのアクセス及びフィルタリング
- モバイルとタブレット対応
- 最適化された検索エンジン

www.issa.int

国際社会保障レビュー

1948 年に創刊された『国際社会保障レビュー』（ISSR）は、世界でも主要な社会保障分野における刊行物で、四半期ごとに出版されます。2018 年に発行された 4 冊のうち、1 冊の特別号は ISSA プログラムの優先順位及び主要な課題を特集しました。

2018 年の特別号（71 巻、3 号）は社会保障の義務である数理・財務報告を取り上げ、第 19 回 ISSA 社会保障における数理、統計、投資専門家の国際カンファレンス（ACT2018）の補足資料として発行されました。テーマに基づいた 71 巻、4 号は福祉から労働への運営、及びヨーロッパでの社会的革新に関するテーマでした。

ISSA メンバーは My ISSA を利用していつでも ISSR にアクセスできます。

www.issa.int/review

ISSA カントリープロファイル

ISSA ウェブサイトでは、182 の国と地域における社会保障制度とプログラム概要が閲覧・比較できます。データはアメリカ社会保障庁と ISSA の共同作成によるものです。6 か月毎にアフリカ、南北アメリカ、アジア太平洋、ヨーロッパのいずれかの地域データが順次更新され、その地域の社会保障プログラムの概要が報告されます。

www.issa.int/country-profiles

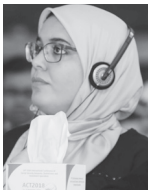
社会保障のグッドプラクティス

ISSA グッドプラクティスのデータベースには ISSA 加盟機関からの 800 以上のグッドプラクティスが登録されています。これらグッドプラクティスの明確化と共有は、社会保障機関運営・管理の有効性と効率性の改善をサポートします。グッドプラクティスは分類されており、地域、国、トピックと実施年で絞り込みが可能です。このデータベースは、知識と経験を集約した貴重なソースとして、ISSA 加盟機関のインスピレーション及び指南となります。

www.issa.int/good-practices

詳細情報：www.issa.int

13
変化する世界



14
社会保障革新の必要性

18
VISION ZERO

24
新しいウェブサイト

Excellence in social security
Excellence en sécurité sociale
Excelencia en la seguridad social
Exzellenz in der sozialen Sicherheit
Высокие стандарты управления в социальном обеспечении
التميّز في الضمان الإجتماعي
卓越的社会保障
優れた社会保障

ISSA事務局
Route des Morillons 4
Case postale 1
CH-1211 Geneva 22

T: +41 22 799 66 17
F: +41 22 799 85 09
E: issa@ilo.org

www.issa.int

SYSTEM CERTIFICATION ISO 9001 SGS

PERFORMANCE myclimate neutral Imprimé XXXXXX myclimate.org